

ウスグロゴケ科

# キツネゴケ

*Rigodiadelphus robustus* (Lindb.) Nog.

兵庫県ランク… C

環境省ランク… -

## ■ 県内分布

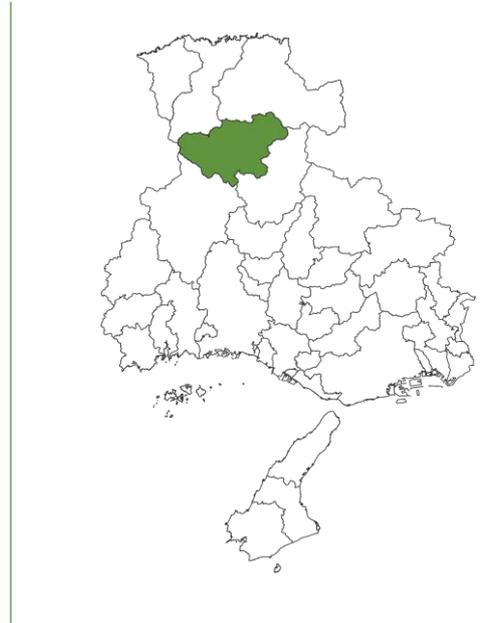
養父市

## ■ 国内分布

北海道、本州、九州

## ■ 選定理由

人為性	特殊性	学術性
生育環境破壊	特殊生育環境	特殊な分布
観賞用等採取	特異な生態	分布の限界
		希少
		○



## ■ 特記事項

-

## ■ 保護上の留意点

-

## ■ 種の概要

植物体はやや大型で、しばしば枝等から垂れ下がる。茎には小さな狭三角形の毛葉があり、不規則に分枝する。枝は葉を含め幅0.5-1mm。葉は乾くと茎や枝に接して、縮れない。枝葉は長さ2-3mm、披針形で先端は毛状に細く尖り、縦じわがある。葉縁の中部は狭く反曲し、中肋は葉先下で終わる。葉身細胞は狭六角形から線形、厚壁でくびれがある。翼部の細胞は短くて方形、厚壁。蒴柄は長さ1-1.5cm。蒴は長卵形で直立し、相称。胞子は直径12-16 $\mu$ m。高地の樹上に生育する。